

一日 警城時報

福島縣石城郡平町新屋町十四番地... 印刷部 印刷所 印刷部 印刷所

平警察署移轉案 愈々來る縣會に提案

平町西部發展のため 是非實現せしめたい

平警察署を元郡役所に移轉する對されつ、あつた平町女子青年會は大正十四年以來地方民に叫...

平町會招集

平町第三小學校建築敷地として今より思ひやられる。

官行製炭反對運動

貝泊村民のみが反對 政府は方針通り進行

一現在の平警察署を舊郡役所に移轉し署長官舎のみを賣却して應舎の敷地を廣小路とす...

女子青年發會

役員選舉

後で平町教育關係者並に町内名流婦人百余名の發起によつて計

藝妓踊の山車をたし

植田町の奉祝

植田町では御大典奉祝のため九日より各表通り道路兩側軒並に奉祝提灯をつるし各町内毎に山車を引廻し諸々に大アーチ等を設置する計劃にて寄り、協議中であつたが青年團では九日...

酒の消費から見た石城の社會想

前年の酒の移出入状況 平稅務署で調査

地下開鑿

結局不能か

平町大工町地内常磐線の大工町踏切地下道開さく運動は暫くさたやみになつて居たが十六區地の發展に伴つて再燃し今回開さく期成同盟會を組織して實現の猛運動をなすべく小手調べに十六區區長山崎喜正氏を始め好間村總代その他十一名は三十日平保線區事務所および平町役場を訪問して促進の陳情をしたが...

鷹崎家の稻荷遷宮式

平町一丁日町會議員鷹崎貞術氏は從來出生地なる神谷村の實家に安置してゐた稻荷神社を一丁目の邸内に遷す事となり邸内に祠を造り一日午前十一時から山部神官等に依頼し遷宮式を行つたが同稻荷大明神は鷹崎貞術氏の實父廣太氏の懇請により文久三年公文所から神璽を遷れたものでその記録左の如し。

小名濱問題

小名濱築港費の本縣負擔年次更正案は來る縣會に提案される事になつたが、民政黨では異論を持ち出す様様で地元民の運動が必要であると言はれてゐる。

競獵會開催

平獵友會では一日午後二時から平町聚樂館に於て競獵會を開催し會員各自の獲物を持ち寄つて審査し一等から五等迄賞品を授けらる。

奉祝電燈

今日から月の異名さへ神無月に入つて萬古に光被る御大典を目前に控へた平町地方では奉祝電燈の御多分に洩れず否一層深刻なるものがあつて來るべき喜びの日を如何にして奉祝感激の赤誠を披露せんと各町それらの考案を廻らし大抵は既に奉祝の準備萬端が整つた程中には裝飾の善美をつくして絢爛目

疫病で死亡

平町柳町長が猛烈な運動をなし再三有志が縣當局に陳情をなす處があつたが兩漁港の懸案とも經費の關係で本年は提案されぬらしく、

或は提案か

豊間漁港は平町並に江名町の作漁港改修問題は地方水産業のため地元審査し一等から五等迄賞品を授けらる。

提議困難か

地方民から熱望されてゐる鮫川疏水の改修問題は各方面の關係から來る縣會に提案される事は困難であると言はれてゐる。

小名濱問題

小名濱築港費の本縣負擔年次更正案は來る縣會に提案される事になつたが、民政黨では異論を持ち出す様様で地元民の運動が必要であると言はれてゐる。

競獵會開催

平獵友會では一日午後二時から平町聚樂館に於て競獵會を開催し會員各自の獲物を持ち寄つて審査し一等から五等迄賞品を授けらる。

提議困難か

地方民から熱望されてゐる鮫川疏水の改修問題は各方面の關係から來る縣會に提案される事は困難であると言はれてゐる。

矛盾した社會

安川泰二郎

現生活状態は皮肉といふか矛盾といふか...

一例を掲ぐれば今新聞紙上を煩はしてゐる東京市議乃至市議兼代議士連である...

農家に居つて農夫は四季粒々辛苦をなしてゐる...

働いて食へず、働かして食ふとは矛盾不自然皮肉も皮肉「働かざるものは食ふべからず」...

クスリは、山野邊藥局

鎮咳液 特約店 關内藥局

木村醫院 産婦人科 院長 木村寅四郎

耳鼻咽喉科 新築移轉 合津醫院

淋病、消渴に奇妙に良きく 濟淋 特價

蒲鉾店開業廣告 御祝儀引物一式

松島名産 カキ貝 料理

栗守酒 滋養、強壯劑として愈々好評

清水次郎 萬期人待し 必勝的大映畫

スポンジ 美味にして 強壯の効

貸地廣告 古鍛冶拾番地

木村外科醫院 平町六丁目橋際